

大窪地区の火の用心は、 じゃらん、じゃらん。



公園でも火を使う可能性があり、その不始末から火災につながる。



こういう生活路もゴミ等があるとタバコのポイ捨てなどで火事になる可能性がある。



これが「じゃらん棒」。何度も折れてその度に溶接して使っている。重さは1.5キロぐらい。



最後の仕事は、近くにある山神(サンジン)神社への初詣。新年の安全を祈願する。



歳末火災特別警戒も大晦日で終了。NHKの「ゆく年くる年」を時報代わりに、新年になった瞬間、全員で無事への感謝と、清めの杯。



水路や川の水位や堰も、消火活動のための水の確保や、水害の前兆がないか等を確認するために見回る。



小田原市消防団第六分団長 上村正樹さん

「私が入団して10年くらいした時、この地区で火事があり、悔しいことに全焼してしまいました。火事になるとなにもかも失ってしまいます。物だけでなく、思い出までもなくなってしまいます。もうそんな思いを

誰にもさせたくありません。ですので、多少うさがられても(笑)、それで火の元を思い出してもらえればと思い、自治会長と相談の上、今年もじゃらん棒での夜回りを続けています。」

歳末火災特別警戒
平成27年12月26日(土)～31日(木)
実施機関…市消防本部・消防署・消防団

「じゃらん、じゃらん。」

暗闇の中、じゃらん棒でアスファルトを突く音が響く。「じゃらん棒」とは、錫杖のことである。大窪地区の消防団では拍子木ではなく、伝統的にこのじゃらん棒を使って火の用心の夜回りをする。よく通るじゃらん棒の音色は、住民に火の不始末の注意を呼びかける。

消防団というのは、地域住民で構成された非常勤の組織である。今回訪れたのは大窪地区の中でも入生田、風祭、水之尾を守る第六分団の方達。箱根の麓、凍てつく夜道を大通りから路地裏まで、公園、空地、工事現場、空家、ゴミ置場などを地域ならではの経験を活かし入念に見回りながら歩く。

気づかされたのは、その一箇所、一箇所が火の元になる危険性があるのだということ。消防団の方達の「火の用心」という言葉の中には、これだけたくさんの「用心」が含まれているのだ。「暮らし」というのは、いつだってこういう方達に支えられているのだ。

卒業・入学の記念に
3Dプリンターで作る
似顔絵フィギュア作りませんか?

3D DIGITAL SOLUTION

詳しくはWEBで! <http://www.bunkado.jp>
お問い合わせ・お申し込みは文化堂印刷株式会社「フィギュア係」
TEL.0465-34-9206 (代)

文化堂印刷株式会社

「お客様 ありがとうございました」

この町でお世話になって
気が付けば今年で10年目になります。
これからも一緒に続けていこうと思います。

お風呂 屋根
トイレ キッチン
外壁 室内天井
フェンス 壁
ドア 床

などの不具合を改善するのが私たちの仕事です。

お家の繕い専門店 (神奈川県知事許可(般-26)第80862号)
株式会社 つくろい 〒258-0023 神奈川県
足柄上郡開成町宮台172-1
<http://tukuroi.jp/> ☎0465-20-8571
*詳しいサービス内容はホームページをご覧ください

小田原市
自治会連合会
ミニマップ

相模湾